

2013

Vol.14

5月10日

花水木

ハナミズキ

Kawaguchi Municipal
Medical Center

特集

医療費のお支払いが便利に

- ・クレジットカードでのお支払いが可能になります。
- ・医療費自動精算機を導入しました。

p ② ~ p ③

目次

- p ② 平成25年度当初のごあいさつ
- p ④ NICU立ち上げ時の思い出
- p ⑤ KMMC Report:看護週間
- p ⑤ 病院Q&A
- p ⑥ 部署紹介:医事課
- p ⑦ 医師の交代のお知らせ
- p ⑧ 四季の移ろい:5月の陽光のなかのハナミズキ
- p ⑧ ミニギャラリー 4ヶ月



▲医療費自動精算機

基本理念

川口市立医療センター
イメージキャラクター
「みみたース」



市民に信頼され、安全で質の高い医療を提供します

平成25年度当初のごあいさつ

川口市立医療センター 病院事業管理者

栃木 武一

川口市立医療センターは、平成6年に開設以来19年が経過しました。その間市民に信頼される医療を提供するとともに、地域医療が充実するように、地域の医療機関との連携を通じてご利用頂ける様に利便性を図ってまいりました。

当センターは国が推進している5疾病5事業及び在宅医療を推進するばかりでなく、超高齢化社会を担う中核病院として今後とも地域医療に貢献して行く所存であります。

当センターはいくつかの取組みを行なっておりますが、今年度もそれらを継続していきます。いくつかを紹介いたします。一つは地域の医療機関の皆様画像診断検査及び上部内視鏡検査を広く利用して頂けますように予約システムの充実を図っております。また、二つには患者の皆様利便性を考慮し

て平成25年5月より医療費自動精算機を導入し支払い方法の簡素化と時間の短縮を図る予定であります。更に6月からはクレジットカードでの支払いにも対応することになっています。三つめには現在増加している癌治療を安全に実施する目的で、外来化学療法室の移転改修工事を今年度行う予定です。これらの事業については今後順次ご紹介いたします。

さらに近年課題となっております省エネルギー事業に対し当センターは節電の一つとしてLED照明への変更、窓ガラスへの熱遮断フィルムの装着を行ってまいります。

以上のような取組みを市民の皆様並びに地域の医療機関の皆様にご理解を頂き、今後ともご支援下さいます様にお願い申し上げます。

クレジットカードでのお支払いが可能になります

自動精算機導入に伴い、平成25年6月中にクレジットカードでのお支払いが可能になります。

患者の皆様が来院されるときに気になることの一つが、「費用はどれくらいかかるの?」「いくら準備をしたらいいの?」ということだと思います。また多額の現金を持ち歩いたり、入院中に所持することは危険でもあります。そんな場合にクレジットカードでのお支払いをご利用ください。自動精算機・会計窓口・総合健診センターでご使用が可能です。

<対応予定ブランド>



etc

医療費のお支払いが便利になります

医療費自動精算機を導入しました

医療センターでは、会計窓口での待ち時間短縮や会計進行状況の可視化、番号呼出による患者プライバシーの保護など、より一層の患者サービスの向上のため、会計表示システムおよび医療費自動精算機を4台導入いたしました。また6月中にはクレジットカードでのお支払いも対応可能になる予定です。

設置に伴い医療費のご精算方法が変わりましたので、患者の皆様にはご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

<自動精算機>



診療費ご精算の流れ

①診察終了後、会計ファイル受付時に会計専用の番号札をお渡しします。

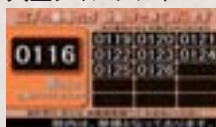


②計算が終了すると、大型ディスプレイに番号が表示されます。



③ご自分の番号が表示されましたら、
④自動精算機にて医療費のご精算をお願いします。

大型ディスプレイ



自動精算機ご使用方法



①診察券を入れる



②モニターに表示された請求金額を投入する



③入金額を確認し、確認ボタンを押す



④釣り銭を受け取る



⑤領収書・診療明細書を受け取る

ご利用できる時間帯

平日……………8:30～17:00
第1・3・5土曜日…8:30～13:00
※閉院日はご利用になれません。

NICU (Neonatal(新生児) Intensive(集中的な) Care(治療) Unit(施設))

立ち上げ時の思い出

山南先生は平成6年の当センター開設以来、新生児集中治療科および小児科において陣頭指揮をとられ、平成15年からは副院長として地域連携、研修医教育に力を注いでこられました。残念な事にこの3月をもって定年を迎えられました。しかし今後も小児科医として私たちを助けていただけるそうです。

定年に際して、NICUの思い出を書いていただきました。



山南 貞夫

先日、一人の青年がNICUを尋ねてきました。自ら名乗ったとたん一部のスタッフから驚声が上がりました。18年前に800gで生まれ、開設間もないNICUに入院してきた子です。すぐ病院中に電話が駆け巡り、手の空いた当時を知る10名ほどの医師、看護師が集まってきました。高校3年生で、卒業後は福祉の学校に進むとか。夢あふれたきはきした受け答えにスタッフの誰もが爽やかさを感じ、特に彼の受け持ちだった看護師さんは感無量の様子でした。

印象に残っている患者さんといえば開設当初に入院してきた子もその一人です。平成6年5月、ゴールデンウィークを返上して開設のシミュレーションを行っていたところに市外遠く離れた産婦人科医院から電話が入りました。見たこともない異常の赤ちゃんが生まれたので入院させてほしいと。連休明けからのオープンですと断るも、どこも引き取ってくれないと懇願され、結局入院することになりました。その子は結合双胎の一種でした。着任早々の小児外科の先生が呼ばれ手術が行われました。彼はその後何の問題もなく成長し、入院してきた時以上

に私たちを驚かせてくれました。

もう一人、強く印象に残っている子がいます。彼は羊膜索症候群という病気で外形の異常と水頭症を合併していました。形成外科で外見がきれいに修復されただけでなく、彼はとても頭のいい子で、早くから両親ともに手話を覚えてその後も健全に成長しています。

いまでこそテレビなどでもNICUについての報道や紹介が行なわれていますが、当センターの開設時にはまだまだ一般的ではありませんでした。日本国内においてもNICUを有している病院は限られていました。そのため当センターの看護師にNICUでの経験者が誰もおらず、中にはこのような子どもたちを救命して意味があるのだろうかという疑問を持つ人もいたようです。NICU入院の患者さんは退院後も長期にわたりフォローを受けますから、入院中には予想だにしないほどの順調な成長ぶりを見ることができます。そのような成長ぶりをみてスタッフの気持ちもだんだん変わっていったように思います。

仕事を通じて自らの人間性が高められるとは良く言われることです。そして医療職はその最たるものではないでしょうか。患者の皆様との関わりのなかで私たちも成長できたのだと思います。ありがとうございました。

看護週間



5月12日は、近代看護の礎を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日に当たる日であり、1990年に当時の厚生省は「看護の心」を育むきっかけとなるようお願いを込めて、5月12日を「看護の日」に制定しました。厚生労働省と日本看護協会は「看護の日」を含む1週間を「看護週間」とし、看護の心を広く伝えていくための広報キャンペーンや様々なイベントを全国各地で繰り広げています。

医療センターでは、5月1日から5月30日まで「パネル展示」5月15日に「ふれあい看護体験」「ふれあいコンサート」を開催します。また、5月3日にはグリーンセンターにおいて医療センター看護師による健康相談を行います。「ふれあい看護体験」では、市民の方々に看護師の体験を通し、看護を身近に感じていただく機会としています。平成24年度は7名の参加があり、「私にもできることがあるのでは」と思い、看護の道に進みたい」「家族側の視点からだけでなく看護者側の視点でもみることができた」などの感想をいただきました。今年も皆さまの参加をお待ちしています。



病院 Q & A

メッセージボックスに寄せられた皆さまの疑問およびご意見をもとに Q & A としました。

ご理解・ご協力をお願い致します。

Q1 立体駐車場での速度の出し過ぎや逆走に対して何らかの対応をしているのですか？

一方通行の標識は設置されていますが、朝9時～11時頃の混んでいる時間帯に空きスペースを探すために逆走する車があります。そのため、この混み合う時間帯には各階に警備員を配置し車の誘導にあたるようにしています。

Q2 会計処理が他院に比べて非常に遅いのですが、どうしてでしょうか？

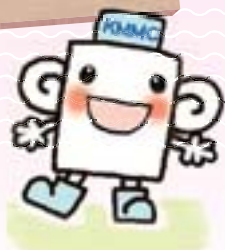
会計処理の際、診療内容を診療した医師等に確認する場合があります。時間がかかってしまうことがあります。なお会計窓口では混み合っている時間帯では担当者を増員し対応にあたっています。さらに、自動精算機導入に伴って待ち時間が緩和されることが期待されます。

Q3 会計のときどうして名前と呼ぶのですか？

現在お名前に変わるものがないため申し訳ありません。今後自動精算機の導入に伴い、番号制に変わりますので、お名前を呼ぶことはなくなる予定です。

医 事 課

部署紹介



医事課の紹介をさせていただきます。医事とは医療事務という意味で、外来係・入退院係・医事係で組織されています。

外来係は、初再診受付、紹介状の受付及び外来に関する各種書類の受け付けや診療会計など担当しております。

入退院係は入退院時の患者さんの入院受付時での入院案内の説明や診療会計計算及び入院関係の各種書類の受け付けなど担当しており、両係とも月末月初めには診療報酬請求(社会保険・国民健康保険・労働災害)事務を行っております。

医事係では、毎月の医療に関する収入状況の把握や、様々な請求、「がん診療連携拠点病院」の事務局として総患者数や各科別患者数、入院日数、病床利用率などの統計処理を行っています。

なお、医事課の業務は多種多様に渡っていますので、業務を効率的に進めるために、患者受付、診療会計、救急受付、各診療科ブロック受付、入退院窓口受付、外来・病棟クレーン、紹介状のスキナー読み込みなどの業務を委託職員やパート職員の方々と協力しながら行っています。

また、患者さんには、いつでも気持ち良く診療してもらえよう、職員全員が常に笑顔で皆さんをお出迎えするよう心がけておりますので、ご不明な点などありましたらお気軽に声をかけてください。

以上で簡単ですが医事課の業務内容を紹介いたしました。

- 外来通院に関するお問い合わせは、正面の総合受付へ
- 入院に関するお問い合わせは、入退院受付へ

平日…………… 8:30～17:00

第1・3・5土曜日 …… 8:30～13:00

医師の交代のお知らせ

新 任



サトウ マキ
佐藤 真紀
1月1日付
内科 医長



カミヤ トモヒデ
神谷 知秀
4月1日付
麻酔科



ミツイシ スミエ
三石 純江
4月1日付
内科



ヤチ カズナリ
谷地 一成
1月1日付
脳神経外科



イシイ ヒロト
石井 敬人
4月1日付
内科



クロヌマ ケイイチロウ
黒沼 圭一郎
4月1日付
循環器科



イ ヤマ ケイ
井山 啓
4月1日付
内科



アキモト タカヨシ
秋本 高義
4月1日付
内科



ヒシヤマ トミユキ
菱山 富之
4月1日付
小児科



タキシマ シゲル
滝島 茂
4月1日付
小児科



ハヤシダ サトシ
林田 啓
4月1日付
内科



ナカガワ リュウイチ
中川 竜一
4月1日付
新生児集中治療科



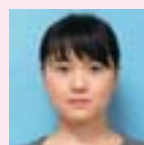
アオ キ リョウ
青木 龍
4月1日付
新生児集中治療科



オカバヤシ ユウスケ
岡林 佑典
4月1日付
内科



マチ ダ シズカ
町田 静香
4月1日付
新生児集中治療科



クマ タ エリ
熊田 絵里
4月1日付
産婦人科



カワ ナ マミ
川名 真未
4月1日付
内科



フジイ リョウ タ
藤井 亮太
4月1日付
整形外科



スエヨシ シンイチ
末吉 真一
4月1日付
眼科



ツジ タ トモヒロ
辻田 智大
4月1日付
内科



イ ザキ サトシ
伊崎 聡志
4月1日付
皮膚科

退 任

山南 貞夫 3月31日付
副院長

別れることがなければ、めぐり
逢うこともできない…西洋の諺

辻 敦美 3月31日付
小児科

佐藤 千穂 3月31日付
新生児集中治療科

米沢 光平 3月31日付
救命救急センター

山崎 浩司 3月31日付
整形外科

石塚 敦子 3月31日付
眼科

新藤 幸人 3月31日付
内科

木本 江美 3月31日付
内科

鬼澤 信之 3月31日付
内科

郡司 匡弘 3月31日付
内科

野口 貴央 3月31日付
内科

渡邊 侑衣 3月31日付
内科

小宮枝里子 3月31日付
小児科

松田 希 3月31日付
新生児集中治療科

車谷 紋乃 3月31日付
皮膚科

四季の移ろい

5月の陽光のなかのハナミズキ

緑が目まぶしい季節になってきました。病院の前の通りのハナミズキが満開の花を咲かせています。この冊子も病院前のハナミズキに由来して名付けたものです。ハナミズキはもともとアメリカから入ってきた花で、アメリカヤマボウシとも呼ばれています。この木は日本がアメリカに対して桜の木(ソメイヨシノ)を送ったことに対しての返礼として贈られたものが最初だそうです。かれこれ100年ほどまえのことです。こんなことを書くと年齢がばれてしまいますが、私がこの花を知ったのはおよそ35年ほど前のことです。私の出身大学の正門のところにハナミズキの大木が7本ほど植えられており、この季節になるときれいな花を咲かせていたのです。毎年見られるように見上げていたことを思い出します。大きな

白や淡紅の花びらが目に映り、ああいいな・・・と思っていたのですが、実はこれ、花びらではなく総苞と呼ばれるもので、花は中心の緑色をした部分だったのです。このことを知ったのはつい最近のことでした。そして花言葉、「私の想いを受けてください」「返礼」というものです。この言葉をもとに、一青窈さんが作詞した「ハナミズキ」、恋愛の歌ではなく、世界の人々が平和につながるようにという願いをこめて「君と好きな人が百年続きますように」と歌ったそうです。そしてこれが作られたのが9.11の事件の後でした。人が相手を思いやり、それに感謝・お礼の気持ちを持ち、接していけばより良い人間関係が作られていくものと思います。この文章を書きながら、私たち医療人はいっそうその思いを大事にしていくべきだと感じています。

そして出身大学にあったあのハナミズキは残念ながら大学の建て替えに伴い、現在は残っていません。



ミニギャラリー4ヶ月

1月は齋藤元男さんの「写真展」、2月は小沢里子さんの「大人の塗り絵展」、3月は妃会の「押し花絵展」、4月は地元作家の選抜による「日本画・洋画展」でした。

写真展は齋藤さんが、長年にわたり世界各地を回って撮り続けた世界遺産の作品で、「素晴らしい作品に感謝しています！母が退院したら一度連れて行きたい気持ちになりました。」という感想が寄せられています。大人の塗り絵は色鉛筆の色づかいがきれいで、故郷の山河を皆さん思い出していました。押し花絵はいつもどおり、院内をたくさんのきれいな花で飾ってくれました。日本画・洋画展は本市のトップクラスの先生方のご協力をいただき、素晴らしい作品ばかりでした。

なお、ミニギャラリーの展示内容は医療センターHPでもご覧いただけます。

◆写真展(1月)◆

◆大人の塗り絵展(2月)◆

◆押し花絵展(3月)◆

◆日本画・洋画展(4月)◆



編集後記

木々の緑が美しいであろう5月に思いを馳せながら、紙面を作っていました。どんな事を掲載すれば良いだろうか、いつも悩みます。その時々でもっともタイムリーな事柄をと思いますが、やはり難しいものです。今後とも、その事を常に考えながら患者のみならず医療センターをつなぐ冊子として発展させていきたいと思っています。

発行責任者 川口市立医療センター 栃木 武一
編集 広報委員会

〒333-0833 川口市西新井宿180

☎048-287-2525(代表)

HP <http://kawaguchi-mm.org>